

## 東京都水道局「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」Q & A (令和6年5月14日改定)

### 1. 試行対象工事

Q1-1 土木工事と他業種の工事との合併工事を発注する場合、対象となるのでしょうか。

A1-1 試行要領1.(2)に該当する土木工事のみ適用対象となります。例えば、土木工事と建築工事の合併工事の場合、土木工事積算分は補正の対象となりますが、建築工事積算分は補正の対象外となります。

Q1-2 シールド工事や立坑築造などの工事は適用対象となるのでしょうか。

A1-2 坑内や屋内作業のように、主たる工種が屋外と作業環境が異なる場合は、環境省の計測方法を準用し、施工場所における暑さ指数(WBGT値)を測定した結果が25以上となった場合、適用対象とします。

Q1-3 試行要領1.(2)の製作期間を含む工事は対象期間から除くとありますが、工事製作期間と屋外作業の施工期間が重複している場合は、どのように考えるのですか。

A1-3 工事製作期間と施工期間が重複している場合は、屋外作業の作業期間が適用対象となります。逆に、工場製作のみ実施している場合は対象外となります。

Q1-4 当該工事に関連する作業(騒音、振動、地盤沈下、地下水等調査等)は、対象期間に含まれますか。

A1-4 対象期間に含まれます。

Q1-5 現場環境改善費(安全関係)における「避暑(熱中症予防)」との併用は可能ですか。

A1-5 併用が可能です。

Q1-6 平日に休工した場合は、その日は対象期間に含まれるのでしょうか。

A1-6 対象期間に含まれます。平日の休工日は、契約上の工期内の休工であり、試行要領2.(4)の対象期間に含まない期間にはあたらないためです。

なお、平日に休工した場合は、その日が真夏日であったとしても、試行要領2.(2)により休工日は真夏日に含めないため、真夏日の算出にあたっては注意してください。

Q1-7 受注者が熱中症対策に資する現場管理費補正を希望する場合、受発注者協議は必要ですか。

A1-7 書類簡素化の観点から協議は必要ありません。対象期間と、真夏日に作業を実施した日数が確定し次第、必要な真夏日の算出根拠資料、熱中症対策を実施した状況が分かる写真等を監督員に提出してください。提出資料に鑑をつける必要はありません。監督員は必要書類を受領し次第、速やかに現場管理費補正の設計変更を行ってください。

## 2. 計測・真夏日率の算出方法について

Q2-1 試行要領2. (3) の真夏日の報告等について、決まった様式はあるのですか。

A2-1 様式の指定はありません。巻末別紙を参考に、環境省または気象庁のホームページなどから、真夏日に作業を実施した日数の算出根拠となる資料を監督員へ提出してください。提出資料に鑑をつける必要はありません。

Q2-2 工事が一部一時中止となったため、施工中の工種が工事製作期間のみとなった場合は、適用となりますか。

A2-2 工事製作期間のみとなった場合はその期間は対象外となります。

Q2-3 基準日の設定について、どのように行うのでしょうか。また、決まった様式があるのでしょうか。

A2-3 試行要領2. (4) のとおり、「基準日」は工事着手日を基本とします。そのため、契約確定の翌日などから契約工期の始期が明確になっている場合や、工事着手日指定書の請書を提出する場合は、基準日の設定のに関する協議及び書類の提出は不要です。

Q2-4 環境省の暑さ指数(WBGT)と気象庁の日最高気温の観測データは、どちらを優先して採用するのですか。例えば、日最高気温が30℃以下でもWBGTが25の場合(もしくはその逆の場合)はどうすればよいですか。

A2-4 環境省及び気象庁観測データのどちらか一方でも基準値を上回った場合は、真夏日と判定してください。(下表の例を参照願います。)

例

	8/1 (月)	8/2 (火)	8/3 (水)	8/4 (木)	8/5 (金)
気象庁観測データ(気温)	33℃	29℃	27℃	30℃	27℃
環境省観測データ(WBGT)	28	25	24	24	28
真夏日判定	○	○	×	○	○

Q2-5 昼間施工と夜間施工を同日に施工する場合、真夏日はどのように算出すればいいですか。

A2-5 昼間施工と夜間施工が同日の場合、昼夜どちらかで基準値を超えていたら、真夏日1日としてください。

Q2-6 工期内の日曜日及び土曜日に作業を行う場合は、対象期間として計上するのですか。

A2-6 作業を行う日曜日及び土曜日については、対象期間に含まれます。

Q2-7 工期の途中から熱中症対策を実施した場合（工事1年目の夏は熱中症対策を実施してなかったが、2年目の夏から熱中症対策を実施した場合など）は、どのように対象期間及び真夏日を計上するのですか。

A2-7 対象期間は工事着手日（基準日）から工事完成日とし、真夏日は熱中症対策を開始した時期から工事完成日までの真夏日日数を算出してください。熱中症対策を開始した時期は、受注者が提出する資料にて、実際に熱中症対策が行われているか確認してください。

### 3. その他

Q3-1 令和元年10月1日より前に起工し現在も引き続き施工を行っている工事においても、現場管理費の補正は適用可能ですか。

A3-1 まず、発注者から、本要領の適用により熱中症対策に関する現場管理費補正の対象案件となることが通知されます。それを受けて、補正を希望する場合は、要領に基づき対応を行ってください。

Q3-2 既済検査を受ける場合は、補正を適用して変更処理をするのでしょうか。

A3-2 補正率は、工事完成日が確定しないと算出出来ないことから、工期途中での変更には適用せず、最終の設計変更の段階で補正を行ってください。

Q3-3 一部一時中止の期間中は、対象期間をどのように算出するのでしょうか。

A3-3 一部一時中止期間内に別途屋外で施工している場合は、その屋外施工の期間が対象期間に含まれます。

Q3-4 今回の補正には、どのような予防策が適用対象となるのでしょうか。

A3-4 空調機器類（空調機能付作業服、首掛けクーラー）や冷感スプレー等が対象となります。なお、現場管理費補正のほかに現場環境改善費で「避暑（熱中症予防）」を計上している案件については、それぞれ適用対象となる熱中症予防策は下表を想定していますので、ご留意願います。（ただし、どちらか一方の費用を計上している案件はこの限りではありません。）

		熱中症予防策の参考例
熱中症対策	共通仮設費 (現場環境改善費)	<ul style="list-style-type: none"><li>● スポットクーラー、扇風機</li><li>● ドライミスト発生装置</li><li>● 送風機等</li><li>● テント付きの屋外休憩所</li></ul> 等
	現場管理費	<ul style="list-style-type: none"><li>● 空調機能付作業服、首掛けクーラー等</li><li>● 冷感スプレー等</li><li>● 塩飴、スポーツドリンク等</li></ul>

Q4-5 現場管理費を補正する場合、熱中症対策の実施状況について、受注者はどのような資料を監督員に提出すればよいですか。

A4-5 工事記録写真撮影要綱の「その他 環境対策・イメージアップ」に基づき、対策ごとに1回撮影し、熱中症対策を実施状況が分かる資料を提出してください。

別紙 真夏日の算出根拠となる資料（例）

受注者提出資料：真夏日日数がわかる資料

（気象庁・環境省 HP 等による、施工場所から最寄りの観測所の最高気温や WBGT 情報）

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

HOME | 防災情報 | 各種データ・資料 | 地域の情報 | 知識・解説 | 各種申請・ご案内

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 日ごとの値

日ごとの値

一覧表 グラフ 見出しの固定 メニューに戻る

主な要素 詳細(気圧・降水量) 詳細(気温・蒸気圧・湿度) 詳細(風) 詳細(日照・雪・その他) 詳細(N時間降水量) 詳細(N時間降雪量)

前年 前月 前日 翌日 翌年

月ごとの値 旬ごとの値 半旬ごとの値 日ごとの値

東京(東京都) 2023年7月(日ごとの値) 主な要素

日	気圧(hPa)		降水量(mm)		気温(℃)			湿度(%)		風向・風速(m/s)			日照時間(h)	雪(cm)		天気概況			
	現地	海面	合計	最大1時間	平均	最高	最低	平均	最小	平均風速	最大風速	最大瞬間風速		降雪合計	最深積雪値	昼(06:00-18:00)	夜(18:00-翌日06:00)		
1	1001.1	1003.8	13.5	4.5	20.5	27.8	21.5	93	80	3.3	6.0	南南西	11.4	南南西	0.4	—	雨時々曇	雨後時々曇	
2	1004.9	1007.7	2.5	4.0	1.5	26.0	31.7	20.7	79	53	3.1	6.6	南	10.3	南	11.0	—	晴時々薄曇	曇
3	1003.6	1006.3	—	—	27.3	32.2	23.6	79	61	2.3	5.4	南	8.3	南南東	7.9	—	薄曇一時晴	曇一時雨、雷を伴う	
4	1001.9	1004.6	1.0	1.0	0.5	25.8	30.6	21.3	75	53	3.0	5.7	南南東	9.1	東	6.6	—	晴一時曇	曇時々晴
5	1001.5	1004.2	0.0	0.0	0.0	25.2	28.7	22.5	80	62	3.6	6.7	南	12.3	南南東	0.5	—	曇後一時雨	雨一時曇
6	1000.3	1003.0	13.0	4.5	2.5	26.4	33.4	22.0	82	49	2.6	4.8	北西	9.0	北	5.6	—	曇時々晴一時雨	晴時々薄曇
7	1006.0	1008.8	—	—	—	28.4	34.2	23.8	71	42	3.3	8.4	南	13.4	南	10.6	—	薄曇時々晴	曇後一時雨
8	1003.9	1006.6	0.0	0.0	0.0	27.8	30.9	25.2	77	67	4.3	7.1	南	13.8	南南西	0.2	—	曇時々雨	曇時々晴
9	1002.6	1005.4	0.0	0.0	0.0	28.6	33.0	25.1	78	62	3.4	7.6	南南西	12.6	南南西	2.7	—	曇一時晴後一時雨	晴一時薄曇
10	1003.1	1005.8	—	—	—	30.2	36.5	25.7	72	47	3.0	6.9	南南東	13.2	南	11.4	—	晴	晴
11	1004.9	1007.6	—	—	—	28.4	34.3	25.3	74	53	2.9	6.3	南東	9.2	南東	12.4	—	晴	快晴 7/11 現場休工
12	1002.8	1005.5	0.0	0.0	0.0	30.8	37.5	25.1	66	42	2.5	6.2	南	10.0	南	11.1	—	晴一時曇	曇一時雨
13	1003.4	1006.1	0.0	0.0	0.0	28.0	30.3	24.2	67	54	2.4	5.2	西南西	9.1	西	0.1	—	曇時々雨	曇時々雨
14	1006.4	1009.1	0.0	0.0	0.0	27.4	30.5	24.8	76	62	2.1	4.4	南	8.1	東	0.5	—	曇一時雨	曇
15	1005.6	1008.3	0.0	0.0	0.0	28.8	32.9	26.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴一時晴 7/15 休日施工	晴
16	1007.0	1009.7	—	—	—	30.2	35.3	26.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
17	1010.4	1013.1	—	—	—	31.3	36.2	26.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
18	1008.7	1011.4	—	—	—	31.8	37.5	27.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴時々薄曇	晴時々薄曇
19	1001.9	1004.6	0.0	0.0	0.0	29.7	33.9	26.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴時々晴	晴時々晴
20	1004.1	1006.8	—	—	—	28.1	32.6	25.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴時々晴	晴時々晴
21	1011.6	1014.4	0.0	0.0	0.0	27.2	31.6	24.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴時々晴	晴時々晴
22	1015.2	1018.0	—	—	—	27.2	33.4	24.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴一時曇	晴一時曇
23	1013.8	1016.6	—	—	—	27.7	33.4	22.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	後薄曇	後薄曇
24	1012.1	1014.8	—	—	—	28.5	35.7	23.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
25	1012.4	1015.2	—	—	—	29.8	36.6	24.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
26	1012.7	1015.4	—	—	—	31.0	37.7	25.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	後一時曇 7/26 現場休工	後一時曇 7/26 現場休工
27	1012.2	1015.0	—	—	—	30.6	36.9	26.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴時々曇	晴時々曇
28	1012.9	1015.6	—	—	—	30.4	36.2	26.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
29	1013.6	1016.4	—	—	—	30.0	35.7	25.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	晴	晴
30	1012.5	1015.2	—	—	—	30.3	36.6	25.7	69	46	3.5	6.7	南東	11.1	南	13.1	—	快晴	快晴
31	1010.5	1013.2	—	—	—	30.7	36.1	27.5	69	49	4.0	6.9	南南東	11.9	南南東	10.6	—	晴後一時曇	曇後時々雨、雷を伴う

休工や休日施工を行った場合、その旨も記載願います。

真夏日の着色やその他補足事項の記入等は、手書きなど簡易な方法で構いません。

2023年7月：現場作業を実施した真夏日日数 18日

工事週報

課長	課長代理	課長代理	担当者	〇〇	指示事項・報告			
施工年月日 自 2023年 7月10日(月) 至 2023年 7月15日(土) 変注者 ○〇株式会社 現場代理人 水道 太郎					7月10日(月) 管路No.○ 連距 ○○.○~○○.○			
工事番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 工事件名 ~~~区~~~地先から~~~区~~~地先間 配水小管布設替工事						7月11日(火) 現場休工、安全教育実施		
工種	単位	出来形	累計出来形	工種	単位		出来形	累計出来形
配水小管新設工 φ200	m	〇〇〇	〇〇〇〇					7月13日(木) 管路No.○ 連距 ○○.○~○○.○
配水小管撤去工 φ200	m	〇〇〇	〇〇〇〇					
本道局記事欄								7月15日(土) 管路No.○ 連距 ○○.○~○○.○ (休日施工)

監督員は受注者提出資料と工事週報・週間工程表等により、真夏日に現場作業を実施した日数を確認してください